



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月31日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2810 URL https://housefoods-group.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 仲川 宜秀 (TEL) 03-5211-6039  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	225,619	1.6	15,764	9.6	16,863	11.2	10,254	16.8
2018年3月期第3四半期	222,139	3.6	14,386	27.3	15,170	23.7	8,783	△1.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 8,127百万円(△55.3%) 2018年3月期第3四半期 18,199百万円(163.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	99.79	—
2018年3月期第3四半期	85.47	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	380,152	286,283	66.9	2,476.52
2018年3月期	378,864	283,719	66.5	2,450.71

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 254,465百万円 2018年3月期 251,814百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2019年3月期	—	22.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,700	3.4	18,000	10.5	19,600	13.9	13,700	46.5	133.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細はP9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	102,758,690株	2018年3月期	102,758,690株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	7,867株	2018年3月期	6,963株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	102,751,269株	2018年3月期3Q	102,752,802株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 業績の状況	12
(2) グループ会社数	13
(3) 連結損益計算書の状況	13
(4) 連結貸借対照表の状況	15
(5) 設備投資の状況	16
(6) 減価償却費の状況	16
(7) 主要経営指標等	16
(8) 通期目標	17
(9) 参考情報	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2018年4月からスタートした第六次中期計画において、“「食で健康」クオリティ企業への変革”をハウス食品グループのめざす姿と位置づけ、企業市民として果たすべき「3つの責任」（お客様に対して、社員とその家族に対して、社会に対して）の全てにおいて、クオリティ企業への変革に向けた取組を推進しております。

## ・「3つの責任」重点取組テーマ

お客様に対して	国内成熟市場におけるイノベーションの創出と海外成長市場における事業展開の加速 (バリューチェーン革新、R&D変革、海外事業の成長拡大と事業基盤の強化)
社員とその家族に対して	ダイバーシティの実現 (働き方変革の実行、多彩な人材の獲得と活躍できる場づくり)
社会に対して	当社グループが考えるCSR(Creating Smiles & Relationships)活動を通じた循環型モデルの構築と健康長寿社会の実現

当第3四半期連結累計期間の売上高は、健康食品事業は前年を下回ったものの、海外食品事業が進出各エリアで事業規模を拡大したほか、香辛・調味加工食品事業、外食事業、その他食品関連事業も堅調に推移したことにより、2,256億19百万円、前年同期比1.6%の増収となりました。

営業利益は、増収効果に加え、広告宣伝費等のマーケティングコストの効果的運用を徹底したことで、157億64百万円、前年同期比9.6%の増益となりました。経常利益は168億63百万円、前年同期比11.2%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は102億54百万円、前年同期比16.8%の増益となりました。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
香辛・調味加工食品事業	107,461	100.9	10,650	108.2
健康食品事業	25,269	98.2	1,910	137.8
海外食品事業	19,338	114.2	2,731	121.2
外食事業	38,831	100.5	△372	—
その他食品関連事業	46,654	100.8	1,835	109.5
小計	237,552	101.5	16,754	111.4
調整(消去)	△11,933	—	△990	—
合計	225,619	101.6	15,764	109.6

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

## &lt;香辛・調味加工食品事業&gt;

ハウス食品(株)のカレー製品群については、ルウカレーが前年を下回ったものの、「食の外部化」の影響からレトルトカレーが伸長したほか、業務用も堅調な推移となり、前年実績を確保いたしました。その他製品群では、ルウシチュー、スナックが前年を下回る一方で、新製品が寄与したデザートやラーメンが販売を伸ばしました。

また、(株)ギャバンおよび前連結会計年度に子会社化したマロニー(株)も堅調に推移いたしました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は1,074億61百万円、前年同期比0.9%の増収、営業利益は106億50百万円、前年同期比8.2%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は9.9%となり、前年同期より0.7pt向上いたしました。

#### <健康食品事業>

機能性スパイス事業は、お客様の飲酒シーンの多様化や競合環境の激化の影響から「ウコンの力」の苦戦が続いており、低調な推移となりました。

ビタミン事業は、「C1000」シリーズは前年を下回りましたが、ゼリー飲料が牽引する「1日分のビタミン」が伸長し、事業全体で前年を上回りました。

また、当連結会計年度より当社グループ独自技術による「乳酸菌L-137」の本格的な事業展開を開始し、機能訴求および認知向上に努めております。

以上の結果、健康食品事業の売上高は252億69百万円、前年同期比1.8%の減収となりました。営業利益は、乳酸菌事業の本格展開を推進する一方でマーケティングコストのコントロールを徹底したことにより、19億10百万円、前年同期比37.8%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は7.6%となり、前年同期より2.2pt向上いたしました。

#### <海外食品事業>

米国豆腐事業は、健康志向の高まりを追い風に事業規模を拡大しておりますが、労務費や物流費の上昇影響から、増収減益となりました。

中国カレー事業は、日本式カレーの着実な認知向上を背景に、家庭用・業務用ともに伸長が続き、増収増益となりました。なお、当第3四半期連結会計期間より、中国第3の生産拠点となる浙江工場の稼働を開始しております。

タイにおける機能性飲料事業は、「C-vitt」の販売が引き続き好調であったことから増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は193億38百万円、前年同期比14.2%の増収、営業利益は27億31百万円、前年同期比21.2%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は14.1%となり、前年同期より0.8pt向上いたしました。

#### <外食事業>

㈱壺番屋は、売上面は堅調に推移いたしましたが、修繕費等の製造コストの上昇や人件費の負担増から営業減益となりました。㈱壺番屋国内店舗における直営店とフランチャイズ店を合算した売上状況は、全店ベースで前年同期比2.2%増、既存店ベースで同2.1%増となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、国内1,302店舗、海外165店舗となっております。

以上の結果、㈱壺番屋とその他外食子会社を含めた外食事業の売上高は388億31百万円、前年同期比0.5%の増収、営業利益は㈱壺番屋を連結対象子会社とした際に発生したのれんや無形固定資産の償却負担から3億72百万円の損失となり、前年同期からは2億54百万円の減益となりました。結果、売上高営業利益率は△1.0%となり、前年同期より0.7pt減少いたしました。

#### <その他食品関連事業>

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、持続可能な食品物流の構築を目指す、食品企業による共同取組「F-LINE」の全国展開を見据え、引き続き事業最適化に取り組んでおります。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む㈱デリカシェフは、人手不足に伴い労務費が増加傾向にあるなか、開発力強化と生産性改善に一層注力しております。

農産物・食品等の輸出入および販売を営む㈱ヴォークス・トレーディングは、基幹事業の収益力を強化するとともに、高品質原料のソリューション提案に取り組んでおります。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は466億54百万円、前年同期比0.8%の増収、営業利益は18億35百万円、前年同期比9.5%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は3.9%となり、前年同期より0.3pt向上いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

総資産は、3,801億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億88百万円の増加となりました。

流動資産は、有価証券や現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことなどから、60億36百万円増加の1,472億81百万円となりました。固定資産は、機械装置及び運搬具や建物及び構築物が増加した一方で、投資有価証券やのれんが減少したことなどから、47億48百万円減少の2,328億71百万円となりました。

負債は、938億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億76百万円の減少となりました。

流動負債は、未払法人税等や未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金が増加したことなどから、1億16百万円増加の567億64百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が減少したことなどから、13億92百万円減少の371億5百万円となりました。

純資産は、保有株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が減少したことや、為替換算調整勘定が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて25億64百万円増加の2,862億83百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は66.9%（前連結会計年度末は66.5%）、1株当たり純資産は2,476円52銭（前連結会計年度末は2,450円71銭）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く内外の経営環境は先行きに対する不透明感が強まりつつあるものの、当社の主要事業は概ね計画通りに推移しております。

また当社は、2019年3月期第4四半期連結会計期間において、投資有価証券の売却等による特別利益を計上する見込みであり、これらも踏まえて、2018年11月1日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2019年3月期通期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	301,700	18,000	19,600	11,600	112.89
今回修正予想 (B)	301,700	18,000	19,600	13,700	133.33
増減額 (B-A)	—	—	—	2,100	—
増減率 (%)	—	—	—	18.1	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	291,897	16,288	17,207	9,353	91.02

(注) 1. 上記の予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,630	59,780
受取手形及び売掛金	48,575	56,256
有価証券	8,654	7,000
商品及び製品	10,828	11,078
仕掛品	1,963	1,884
原材料及び貯蔵品	4,740	4,794
その他	6,049	6,628
貸倒引当金	△194	△139
流動資産合計	141,245	147,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,211	31,501
機械装置及び運搬具(純額)	12,794	14,180
土地	32,322	32,330
リース資産(純額)	3,554	3,285
建設仮勘定	2,428	1,446
その他(純額)	1,872	2,020
有形固定資産合計	83,182	84,763
無形固定資産		
のれん	9,400	6,835
商標権	25,296	24,820
ソフトウェア	1,701	1,367
契約関連無形資産	26,820	26,096
ソフトウェア仮勘定	164	283
その他	1,059	1,002
無形固定資産合計	64,441	60,402
投資その他の資産		
投資有価証券	76,841	73,518
長期貸付金	349	335
繰延税金資産	2,008	1,976
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	3,981	4,422
破産更生債権等	712	705
その他	6,009	6,640
貸倒引当金	△903	△890
投資その他の資産合計	89,996	87,706
固定資産合計	237,619	232,871
資産合計	378,864	380,152



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,877	23,985
電子記録債務	1,465	1,483
短期借入金	5,858	6,407
1年内償還予定の社債	26	26
リース債務	620	581
未払金	16,601	15,159
未払法人税等	4,331	2,545
賞与引当金	409	205
役員賞与引当金	95	63
株主優待引当金	90	75
その他の引当金	15	—
資産除去債務	4	9
その他	6,256	6,226
流動負債合計	56,648	56,764
固定負債		
社債	52	39
長期借入金	573	441
リース債務	3,018	2,786
長期末払金	254	206
繰延税金負債	26,570	25,157
役員退職慰労引当金	296	—
債務保証損失引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,728	1,778
資産除去債務	843	836
長期預り保証金	4,643	5,301
その他	517	559
固定負債合計	38,496	37,105
負債合計	95,145	93,869
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,107	23,107
利益剰余金	188,258	194,196
自己株式	△17	△21
株主資本合計	221,296	227,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,614	22,854
繰延ヘッジ損益	△5	46
為替換算調整勘定	1,763	1,253
退職給付に係る調整累計額	3,147	3,081
その他の包括利益累計額合計	30,518	27,234
非支配株主持分	31,905	31,819
純資産合計	283,719	286,283
負債純資産合計	378,864	380,152



## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	222,139	225,619
売上原価	122,854	124,869
売上総利益	99,285	100,750
販売費及び一般管理費	84,898	84,986
営業利益	14,386	15,764
営業外収益		
受取利息	247	246
受取配当金	373	382
持分法による投資利益	80	65
受取家賃	574	568
為替差益	—	146
その他	202	380
営業外収益合計	1,477	1,787
営業外費用		
支払利息	63	60
賃貸費用	467	462
為替差損	91	—
その他	72	167
営業外費用合計	693	689
経常利益	15,170	16,863
特別利益		
固定資産売却益	11	4
投資有価証券売却益	0	376
受取補償金	—	37
店舗売却益	109	129
負ののれん発生益	57	—
その他	6	9
特別利益合計	184	554
特別損失		
固定資産売却損	15	5
固定資産除却損	104	169
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	2
会員権評価損	—	6
減損損失	363	241
その他	16	13
特別損失合計	498	436
税金等調整前四半期純利益	14,855	16,981
法人税等	5,050	5,617
四半期純利益	9,805	11,365
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,783	10,254
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,023	1,111

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,123	△2,715
繰延ヘッジ損益	△72	58
為替換算調整勘定	△21	△522
退職給付に係る調整額	346	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	17	△4
その他の包括利益合計	8,394	△3,238
四半期包括利益	18,199	8,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,055	6,969
非支配株主に係る四半期包括利益	1,143	1,157

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社等の収益および費用は、従来、当該在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。当社グループは海外売上高の拡大・グローバル展開を推進しており、在外子会社等における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、在外子会社等の収益および費用を期中平均相場により円貨に換算する方法が合理的であると判断したためであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	103,269	25,570	16,798	38,612	37,851	222,100	—	222,100	39	222,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,193	167	128	9	8,434	11,931	—	11,931	△11,931	—
計	106,462	25,737	16,926	38,621	46,285	234,031	—	234,031	△11,892	222,139
セグメント利益又は 損失(△)	9,843	1,386	2,253	△118	1,675	15,040	—	15,040	△653	14,386

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△653百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、363百万円計上しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	104,328	25,061	19,266	38,820	38,107	225,581	—	225,581	38	225,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,133	208	72	11	8,547	11,971	—	11,971	△11,971	—
計	107,461	25,269	19,338	38,831	46,654	237,552	—	237,552	△11,933	225,619
セグメント利益又は 損失(△)	10,650	1,910	2,731	△372	1,835	16,754	—	16,754	△990	15,764

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△989百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、241百万円計上しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	18. 3期第3四半期		19. 3期第3四半期		18. 3期 通期		19. 3期 通期修正目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	222,139	103.6%	225,619	101.6%	291,897	102.8%	301,700	103.4%
営業利益	14,386	127.3%	15,764	109.6%	16,288	132.3%	18,000	110.5%
経常利益	15,170	123.7%	16,863	111.2%	17,207	123.3%	19,600	113.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,783	98.7%	10,254	116.8%	9,353	107.7%	13,700	146.5%
包括利益	18,199	263.7%	8,127	44.7%	21,547	191.6%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	18. 3期第3四半期		19. 3期第3四半期		18. 3期 通期		19. 3期 通期修正目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	106,462	47.9%	107,461	47.6%	139,937	48.0%	143,200	47.5%
健康食品事業	25,737	11.6%	25,269	11.2%	31,599	10.8%	32,000	10.6%
海外食品事業	16,926	7.6%	19,338	8.6%	22,855	7.8%	26,300	8.7%
外食事業	38,621	17.4%	38,831	17.2%	51,974	17.8%	53,100	17.6%
その他食品関連事業	46,285	20.8%	46,654	20.7%	61,024	20.9%	62,900	20.8%
調整額	△ 11,892	△ 5.3%	△ 11,933	△ 5.3%	△ 15,492	△ 5.3%	△ 15,800	△ 5.2%

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	18. 3期第3四半期		19. 3期第3四半期		18. 3期 通期		19. 3期 通期修正目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	9,843	68.4%	10,650	67.7%	12,081	74.2%	13,000	72.2%
健康食品事業	1,386	9.6%	1,910	12.1%	907	5.6%	1,500	8.3%
海外食品事業	2,253	15.7%	2,731	17.3%	2,847	17.5%	3,400	18.9%
外食事業	△ 118	△ 0.8%	△ 372	△ 2.4%	△ 406	△ 2.5%	△ 300	△ 1.7%
その他食品関連事業	1,675	11.6%	1,835	11.6%	1,865	11.4%	2,000	11.1%
調整額	△ 653	△ 4.5%	△ 990	△ 6.3%	△ 1,008	△ 6.2%	△ 1,600	△ 8.9%

## (2) グループ会社数

	18.3期第3四半期	19.3期第3四半期	18.3期
連結子会社数	37社	37社	37社
国内	14社	14社	14社
海外	23社	23社	23社
持分法適用関連会社	4社	4社	4社
国内	2社	2社	2社
海外	2社	2社	2社

## 《19.3期第3四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
ハウス食品(株)	99,597	100.5%	9,802	107.5%	7,061	108.2%
ハウスウェルネスフーズ(株)	25,269	98.2%	1,908	137.4%	1,501	132.8%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	10,073	106.0%	990	98.5%	726	121.7%
(株)壺番屋(連結)	37,424	101.6%	3,379	92.1%	2,327	92.1%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2018年1月～9月 (株)壺番屋：2018年3月～11月

## (3) 連結損益計算書の状況

## ① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	18.3期第3四半期		19.3期第3四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
<b>売上高</b>	<b>222,139</b>	<b>100.0%</b>	<b>225,619</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,480</b>	<b>1.6%</b>
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	106,462	47.9%	107,461	47.6%	999	0.9%
健康食品事業	25,737	11.6%	25,269	11.2%	△468	△1.8%
海外食品事業	16,926	7.6%	19,338	8.6%	2,412	14.2%
外食事業	38,621	17.4%	38,831	17.2%	210	0.5%
その他食品関連事業	46,285	20.8%	46,654	20.7%	368	0.8%
調整額	△11,892	△5.3%	△11,933	△5.3%	△41	—
売上原価	122,854	55.3%	124,869	55.3%	2,014	1.6%
販売費・一般管理費	84,898	38.2%	84,986	37.7%	87	0.1%
広告宣伝費	7,403	3.3%	7,034	3.1%	△368	△5.0%
運送費及び保管費	7,511	3.4%	7,769	3.4%	258	3.4%
販売手数料	1,872	0.8%	1,250	0.6%	△622	△33.2%
販売促進費	23,812	10.7%	24,605	10.9%	793	3.3%
人件費	22,013	9.9%	22,034	9.8%	21	0.1%
研究開発費	2,910	1.3%	3,112	1.4%	203	7.0%
のれん償却額	2,683	1.2%	2,565	1.1%	△117	△4.4%
<b>営業利益</b>	<b>14,386</b>	<b>6.5%</b>	<b>15,764</b>	<b>7.0%</b>	<b>1,378</b>	<b>9.6%</b>
営業外収益	1,477	0.7%	1,787	0.8%	310	21.0%
営業外費用	693	0.3%	689	0.3%	△5	△0.7%
<b>経常利益</b>	<b>15,170</b>	<b>6.8%</b>	<b>16,863</b>	<b>7.5%</b>	<b>1,693</b>	<b>11.2%</b>
特別利益	184	0.1%	554	0.2%	371	201.6%
特別損失	498	0.2%	436	0.2%	△62	△12.5%
税金等調整前四半期純利益	14,855	6.7%	16,981	7.5%	2,126	14.3%
法人税等	5,050	2.3%	5,617	2.5%	566	11.2%
四半期純利益	9,805	4.4%	11,365	5.0%	1,560	15.9%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,783	4.0%	10,254	4.5%	1,471	16.8%
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,023	0.5%	1,111	0.5%	89	8.7%
<b>四半期包括利益</b>	<b>18,199</b>	<b>8.2%</b>	<b>8,127</b>	<b>3.6%</b>	<b>△10,072</b>	<b>△55.3%</b>



## ② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	1,466
マーケティングコスト（広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計）の減少	198
運送費及び保管費の増加	△ 258
研究開発費の増加	△ 203
その他費用の減少	176

## ③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	18.3期第3四半期	19.3期第3四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	247	246	△ 1
受取配当金	373	382	9
持分法による投資利益	80	65	△ 15
為替差益	—	146	146
受取家賃	574	568	△ 7
その他	202	380	178
営業外収益計	1,477	1,787	310
支払利息	63	60	△ 3
為替差損	91	—	△ 91
貸貸費用	467	462	△ 5
その他	72	167	95
営業外費用計	693	689	△ 5

## ④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	18.3期第3四半期	19.3期第3四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	11	4	△ 7
投資有価証券売却益	0	376	376
負ののれん発生益	57	—	△ 57
店舗売却益	109	129	19
受取補償金	—	37	37
その他	6	9	3
特別利益計	184	554	371
固定資産売却損	15	5	△ 10
固定資産除却損	104	169	65
会員権評価損	—	6	6
減損損失	363	241	△ 122
その他	16	15	△ 1
特別損失計	498	436	△ 62

## (4) 連結貸借対照表の状況

## 《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	18.3期末		19.3期 第3四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	141,245	37.3%	147,281	38.7%	6,036	受取手形及び売掛金の増加 7,681 商品及び製品の増加 250 有価証券の減少 △ 1,654 現金及び預金の減少 △ 850
固定資産	237,619	62.7%	232,871	61.3%	△ 4,748	機械装置及び運搬具の増加 1,387 建物及び構築物の増加 1,290 投資有価証券の減少 △ 3,322 のれんの減少 △ 2,565
<b>資産合計</b>	<b>378,864</b>	<b>100.0%</b>	<b>380,152</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,288</b>	
流動負債	56,648	14.9%	56,764	14.9%	116	支払手形及び買掛金の増加 3,109 未払法人税等の減少 △ 1,786 未払金の減少 △ 1,442
固定負債	38,496	10.2%	37,105	9.8%	△ 1,392	繰延税金負債の減少 △ 1,414
<b>負債合計</b>	<b>95,145</b>	<b>25.1%</b>	<b>93,869</b>	<b>24.7%</b>	<b>△ 1,276</b>	
株主資本合計	221,296	58.4%	227,231	59.7%	5,935	利益剰余金の増加 5,938
その他の包括利益 累計額合計	30,518	8.1%	27,234	7.2%	△ 3,284	その他有価証券評価差額金の減少 △ 2,761 為替換算調整勘定の減少 △ 509
非支配株主持分	31,905	8.4%	31,819	8.4%	△ 86	
<b>純資産合計</b>	<b>283,719</b>	<b>74.9%</b>	<b>286,283</b>	<b>75.3%</b>	<b>2,564</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>378,864</b>	<b>100.0%</b>	<b>380,152</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,288</b>	

## (5) 設備投資の状況

《連結》 (単位：百万円)

	18.3期 第3四半期	19.3期 第3四半期
設備投資	6,791	7,483
リース	423	361
合計	7,214	7,843

## (6) 減価償却費の状況

《連結》 (単位：百万円)

	18.3期 第3四半期	19.3期 第3四半期
減価償却費	6,725	6,766
支払リース料	234	283
合計	6,959	7,048

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

## (7) 主要経営指標等

《連結》

	19.3期第3四半期	18.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	99.79 円	91.02 円
一株当たり純資産	2,476.52 円	2,450.71 円
総資本回転率	—	0.80 回
売上高営業利益率	7.0 %	5.6 %
売上高経常利益率	7.5 %	5.9 %
総資産経常利益率	—	4.7 %
自己資本当期純利益率	—	3.8 %
自己資本比率	66.9 %	66.5 %
流動比率	259.5 %	249.3 %
固定比率	91.5 %	94.4 %
負債比率	36.9 %	37.8 %

一株当たり配当金	—	38.00 円
配当性向	—	41.7 %
利益配分の基本方針に基づく配当性向	—	30.4 %

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従業員数	6,251 人	6,273 人
------	---------	---------

◎休職者・パートを含みません。

(8) 通期目標

《連結》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	139,937	143,200	3,263
健康食品事業	31,599	32,000	401
海外食品事業	22,855	26,300	3,445
外食事業	51,974	53,100	1,126
その他食品関連事業	61,024	62,900	1,876
調整額	△ 15,492	△ 15,800	△ 308
<b>売上高</b>	<b>291,897</b>	<b>301,700</b>	<b>9,803</b>
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	12,081	13,000	919
健康食品事業	907	1,500	593
海外食品事業	2,847	3,400	553
外食事業	△ 406	△ 300	106
その他食品関連事業	1,865	2,000	135
調整額	△ 1,008	△ 1,600	△ 592
<b>営業利益</b>	<b>16,288</b>	<b>18,000</b>	<b>1,712</b>
<b>経常利益</b>	<b>17,207</b>	<b>19,600</b>	<b>2,393</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>9,353</b>	<b>13,700</b>	<b>4,347</b>
<b>包括利益</b>	<b>21,547</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

《連結設備投資》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標
設備投資	10,215	12,000
リース	484	1,000
合計	10,699	13,000

《連結減価償却費》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標
減価償却費	9,126	9,000
支払リース料	330	300
合計	9,456	9,300

《配当金》

	18.3期	19.3期 修正目標
配当金 (1株当たり)	38.00円	44.00円
配当性向	41.7%	39.0%
利益配分の基本方針に基づく 配当性向	30.4%	30.1%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

(9) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
ルウカレー	499	485	519	503	474
ルウシチュー	188	181	187	180	181
ルウハヤシ	62	61	65	63	61
レトルトカレー	512	508	516	539	559
スパイストータル	669	674	691	703	715

② ルウカレー市場動向 (S R I)

2019.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全 体	平均売価	189 円	190 円	188 円		189 円		
	前年差	△ 1 円	△ 1 円	△ 1 円		△ 1 円		
ハウス食品	平均売価	192 円	191 円	190 円		192 円		
	前年差	+ 0 円	△ 1 円	△ 2 円		△ 1 円		
	金額シェア	62.1 %	61.9 %	63.0 %		62.0 %		

出典: (株)インテージS R I月次データ (2018.4 - 2018.12)

③ 主要カテゴリー別売上高前年比 (出荷金額ベース) の状況

2019.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業								
ルウカレー計		99.0 %	99.2 %	96.8 %		99.1 %		
レトルトカレー計		98.7 %	109.5 %	107.0 %		104.1 %		
ルウシチュー計		107.9 %	88.8 %	96.2 %		93.6 %		
ルウハヤシ計		99.4 %	104.2 %	100.9 %		101.6 %		
スパイス計		99.3 %	101.4 %	101.0 %		100.3 %		
健康食品事業								
ウコンの力		89.1 %	85.1 %	92.7 %		87.0 %		
C 1 0 0 0		90.2 %	100.3 %	87.6 %		95.3 %		
1日分のビタミン		133.1 %	135.2 %	113.5 %		134.2 %		